

総合的な学習の時間 全体計画

【生徒の実態】
 ○寛容である。 ○前向きである。
 ○指示されれば動ける。
 ○判断しようとする気持ちはある。
 ▲規範意識やけじめがない。
 ▲自分の考えを持ち、伝えることができない。
 ▲リーダーがいない。
 ▲指示されるのを待っている。
 ▲新しいことに挑戦することができない。
 ▲視野が狭い。

【学校の教育目標】 究（く）・樹（じゅ）・有（う）
 ○「究」きわめる…基本的な知識及び技能、問題解決能力
 ○「樹」たくましく育つ…基礎的な体力、自己実現
 ○「有」存在する…利他共生の精神、郷土愛

【保護者の願い】
 ○最後まで諦めず、主体的に物事に取り組んでほしい。
 ○相手の意見も自分の意見も大事にし、互いに高め合う力をつけてほしい。
 ○他者に対する思いやりや優しさ、自己に対する厳しさを育てほしい。

【育成をめざす資質・能力】
 ○知識や技能を相互に関連付けることにより、他の学習や生活の場面で活用できる。【知識及び技能の習得】
 ○自分の考えを適切に伝え合い、多様な考えを理解したり、集団としての考えを形成したりできる。【思考力、判断力、表現力等の育成】
 ○地域や集団等とのつながりから、その一員として自分がどうよりよく生きていくかを考えていくことにより、学びを人生や社会に生かそうと実践することができる。【学びに向かう力、人間性等】

【地域の実態】
 ○三世同居の割合が高い。
 ○つながりが強い。
 ○学校教育に対する理解があり、協力的である。

【総合的な学習の時間の目標】
 探究的な見方・考え方を働かせ、地域の人、もの、ことに関わる総合的な学習を通して、目的や根拠を明らかにしながら課題を解決し、自己の生き方を考えることができるようにするために、以下の資質・能力を育成する。
 (1) 地域の人、もの、ことに関わる探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、地域の特徴やよさに気づき、それらが人々の努力や工夫によって支えられていることに気付く。
 (2) 地域の人、もの、ことの中から問いを見出し、その解決に向けて仮説を立てたり、調査して得た情報を基に考えたりする力を身に付けるとともに、考えたことを、根拠を明らかにしてまとめ・表現する力を身に付ける。
 (3) 地域の人、もの、ことについての探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、持続可能な社会を実現するための行動の仕方を考え、自ら社会に参画しようとする態度を育てる。

【地域の願い】
 ○自分たちの身の回りの産業や文化等、地域のことをしっかりと認識し、地域の活気づけてほしい。
 ○豊かな体験を通して、経験値を上げ、人間的視野を広げてほしい。
 ○しっかりと挨拶ができる人間に育ってほしい。

【内容】 <目標を実現するにふさわしい探究課題と探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力>

学年	第1学年（50時間）	第2学年（70時間）	第3学年（70時間）		
テーマ	ふるさとの自然・歴史・人	ふるさとのよさと抱えている課題	ふるさと活性		
探究課題	久住の歴史を知り、自然に触れ、人と出会い、久住の素晴らしさを体感する。	地域のよさを知り、地域で抱えている課題について考え、解決に向けて行動する。	市民の一人として、地元が抱える課題を見出し、その解決に向けてどのような創意工夫が行われているかを知り、自らも実行する。		
探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力	知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> 地域の歴史がわかる。 自然環境の現状がわかる。 地域の環境の現状と自分との関わりがわかる。 情報を比較、分類、関連付けて考えるなど、探究の過程に応じた技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の人、もの、ことと自分たちとの関わりや地域の現状（よさ・課題）がわかる。 地域の人々のふるさとに対する思いや願いをとらえる。 探究的な学習に必要な技能を身につける。 	<ul style="list-style-type: none"> 町づくりや地域活性化の取り組みに関わる人々の思いや願いがわかる。 町と自分との関わりがわかる。 町が現在抱える課題（防災教育の視点から）について、どのような工夫がなされているかが理解できる。 情報を構造化する、抽象化するなど、探究の過程に応じた技能を身に付けている。 	
	思考力、判断力、表現力等	課題の設定	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちを取り巻く地域や社会に広く目を向けて、活動の意図や目的を明確にしなが課題を見出している。 解決の方法や手順を考え、見通しをもって計画を立てている。 		
		情報の収集	<ul style="list-style-type: none"> 目的に応じて最適な情報を選択収集し、適切な方法で蓄積や処理をしている。 他者の意見や課題解決の方向性から、必要な情報を取捨選択している。 		
		整理・分析	<ul style="list-style-type: none"> 調査した事象に関する現状や課題、関係性を把握し、分類して多様な情報にある特徴を見付けている。 事象や考えを比較したり因果関係を推論したりして考察し、視点を定めて多様な情報を分析している。 		
		まとめ・表現	<ul style="list-style-type: none"> 調べたり考えたりしたことを論理的にまとめ、相手や目的、意図に応じた表現方法をしている。 国語科や外国語科等で身に付けた技能を活用して表現している。 		
	学びに向かう力、社会参画	振り返り	<ul style="list-style-type: none"> 学習の仕方や進め方を振り返り、獲得した知識を、他の学習や生活にも生かそうとしている。 振り返りの観点を自己で設定して活動を振り返り、次の活動に生かそうとしている。 		
		主体性	<ul style="list-style-type: none"> 自分の意思で目標をもって課題の解決に向けた探究活動に取り組もうとしている。 		
		協働性	<ul style="list-style-type: none"> 自他のよさを生かしながら他者と協力して問題の解決に向けた探究活動に取り組もうとしている。 		
		自己理解	<ul style="list-style-type: none"> 探究的な活動を通して、自分の生活及び地域との関わりを見直し、自分の特徴やよさを理解しようとしている。 		
	他者理解	<ul style="list-style-type: none"> 探究的な活動を通して、異なる意見や他者の考えを受け入れ、尊重しようとしている。 			
社会参画	<ul style="list-style-type: none"> 探究的な活動を通して、進んで実社会・実生活の問題の解決に取り組むとともに、積極的に地域の活動に参加しようとしている。 				

【学習活動】
 ・地域の実態、生徒の実態、小学校との系統性、生徒の興味関心を踏まえた、探究課題の設定をする。
 ・地域の自然、歴史、人、もの、ことを生かした学習活動を行う。
 ・学習成果を表現する場として全校集会や、校内展示、学年通信、文化祭などを活用して発信する。
 ・年間大テーマ1（および、それに準ずる小テーマ1~3程度）の取組を基本とする。

【指導方法】
 ・生徒の課題意識を連続、発展させる支援と工夫を行う。
 ・個に応じた指導の工夫を行う。
 ・体験活動を重視する。
 ・各教科等との関連を重視した指導を行う。
 ・言語により整理分析したり、まとめ・表現したりする学習を重視する。
 ・協働的な学習を充実させるため、思考ツールを積極的に活用する。
 ・PDCAサイクルを活用し検証や分析、改善策までを講じた活動とする。

【指導体制】
 ・全校指導体制を組織する。
 ・運営委員会における校内の連絡調整と指導体制を確立する。
 ・ワークショップ研修を重視する。
 ・地域の教育資源をデータ化するとともに、日常的な関わりを行う。
 ・適宜、G・Tを招聘したり、地域、保護者に協力を仰いだりする。

【学習評価】
 ・ポートフォリオを活用した評価の充実を図る。
 ・観点別学習状況を把握するための評価規準を設定する。
 ・個人内評価を重視する。
 ・指導と評価の一体化を充実する。
 ・授業分析による学習指導の評価を重視する。
 ・期末、学年末には指導計画を評価・改善し、次年度の計画に生かす。

【各教科等との関連】

各教科等	道徳教育	特別活動
<ul style="list-style-type: none"> ・学ぶ意欲と傾聴する力の向上 ・探究的な学びの素地を養う ・協働的な学習場面の設定 ・わかる授業、活気のある授業の展開 ・知識及び技能の確実な習得と活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳科の時間を要として、思いやる心を育む ・指導の重点項目「真理の探究，創造」「思いやり，感謝」「社会参画，公共の精神」「相互理解，寛容」「郷土の伝統と文化の尊重，郷土を愛する態度」 	<ul style="list-style-type: none"> ・集団活動に自主的，実践的に取り組み，互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決する。 ・合意形成や意思決定できるようにする。 ・役割を分担して協力して実践する。

【小学校や近隣の中学校，進学校との連携】

<p>【近隣の小学校との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校で育成された資質・能力の系統性を確認する。 ・小学校での学習内容を確認する。 ・ポートフォリオなどの学習の記録を行う。 ・久住中学校の「総合的な学習の時間発表会」を文化祭や小中連絡会などのあらゆる機会を通じて校区内6年生に紹介する。 <p>【近隣の中学校との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合的な学習の時間の目標，内容，年間指導計画等の交流。 ・T 授業では「総合的な学習の時間」を設定して，共同研究や中間発表会などをおこない，両校の取り組みを環流する。 <p>【高等学校との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校での総合的な学習の時間の目標，内容，年間計画等及び育成を目指す資質・能力の提供 等
--